

南極昭和基地テレビ会議「南極教室」の開催について

「南極の氷が解けると地球が危ない？」～そのようなことを教科書で習っている児童生徒に、南極を取り巻く環境を生きた情報として知ってもらい、自分たちの生活様式が地球環境問題と密接にかかわっていることや、自分たちが活躍する場は世界中にあることを感じてもらうと、「南極昭和基地テレビ会議『南極教室』」を開催します。

1 「南極教室」開催の経緯

南極の研究者や南極観測隊の人たちが、小中学生の皆さんに南極のことをもっと知ってもらおうと、全国で「南極教室」を開いています。この教室は、昨年、新しい衛星通信アンテナが設置され、南極昭和基地とテレビ電話で話ができるようになったことから始められたもので、これまで南極の研究者や南極観測隊の人たちとゆかりのある地域で十数回実施されています。

札幌市からも多くの隊員が輩出されており、また、隊員として経験された方々が市内の大学や研究機関で働いていることから開催する運びとなりました。北海道では、稚内市、北見市に続いて3番目の開催となります。

2 目的

この教室では、南極という人類にとって大切な土地を通して、地球環境保全のために二酸化炭素排出を抑制するために無駄な電力を使わないように気を付けることや、資源を大切にするためにリサイクル・リユースを徹底することなど、自分たちができる身近な行動を起こしてもらうことを目的としています。

3 「南極教室」の内容

(1) 第1部 基調講演・スライドショー

講師に、第45次越冬隊の佐々木 正史北見工業大学教授と同越冬隊に同行取材を行った、朝日新聞社社会部記者の中山 由美さんを迎え、「南極の氷が解けると地球が危ない?」「南極ってどんなところ?」「どんな研究を行っているの?」など、南極での生活や、地球温暖化物質の研究状況についてスライドを交えながら講演を行います。

(2) 第2部 南極とのテレビ会議

現在、第46次越冬隊として昭和基地に滞在している隊員の皆さんと、テレビ電話回線を通して、現在の状況をリアルタイムに伝えてもらいながら、今の南極の様子や実際に取り組んでいる仕事の紹介、隊員と会場に集まった児童生徒との質疑応答が行われるほか、隊員から会場の皆さんへ、環境問題への取り組みや、将来自分たちに何ができるかなどを考えてもらうようなメッセージが送られる予定となっています。

4 日時・場所

平成17年7月22日(金) 午後6時30分～午後8時30分
札幌エルプラザ3階「大ホール」(北区北8条西3丁目)

この教室は「カルチャーナイト2005」のプログラムにもなっています。

5 参加者

市内小中学生・市民 約200人

6 参加者の募集

「広報さっぽろ」と市環境プラザホームページ (<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>) に掲載するとともに、各区役所、各区民センター、市環境プラザで、募集案内を配布中。申し込みは、市コールセンターへ電話 (2 2 2 - 4 8 9 4)、ファクス (2 2 1 - 4 9 4 9) またはEメール (info4894@city.sapporo.jp) で、7月1日から15日まで受け付けしています。応募多数時は抽選。

7 南極パネル展の開催

南極昭和基地テレビ会議と並行して、自然の神秘や不思議を感じ、知ってもらうことを目的として南極パネル展を同時開催いたします。

(1) 内容

国立極地研究所所蔵の写真の中から、ペンギンやアザラシ、オーロラなど南極の自然の魅力を伝える写真を展示いたします。

また、併せて南極で観測隊が使用していた防寒服や、数万年前にできた、実際に触れることができる南極の氷なども展示いたします。

(2) 期間

7月22日(金)午後7時～午後10時

このパネル展は「カルチャーナイト2005」のプログラムにもなっています。

7月23日(土)・24日(日)午前9時～午後5時

(3) 場所

札幌エルプラザ1階「ロビー」・2階「環境プラザ研修室」(北区北8条西3丁目)

問い合わせ先

環境都市推進部推進課(環境プラザ担当)

電話：211-1667